

▶右写真はセンター職員（前列右から二番目は所長）



# みえない障害にご理解を

滋賀県立聴覚障害者センター

所長 福田 濟

## 所頭のあいさつ

誰もがすばらしいと感じる社会であり、みんなの努力で必ず実現したいものです。そのためには、県民一人ひとりの意識改革が必要であると思います。聴覚障害者にとっては、聴覚障害を意図しなくても安心して豊かに生活出来る社会であってほしいと願っています。外観だけで障害の有無が判らない

今、二十一世紀を目前にして、新しい時代を切り拓く動きが具体化しつつあります。滋賀県長期構想「新・湖国ストーリー2010」もその一つであります。その中で、「新しい社会」のイメージが次のように描かれています。①個性が尊重され地域の魅力が高まる社会、②自然と共生する社会、③安全で安心して暮らせる社会、④創造的でしなやかさに富んだ社会、⑤地域の自立的発展を促す基盤が整った美しい社会であります。

当聴覚障害者センターは、平成七年十月に開所し、延べ二万二千人を超える多くの皆さんに利用して頂くことが出来ました。当センターに課せられた期待の大きさを実感しております。今後とも、時代の要請と聴覚障害者のニーズに即応したセンターの運営に努めたいと考えています。

新年あけましておめでとうございます

滋賀県立  
聴覚障害者センター  
だより  
第7号

発行日/平成10年1月5日  
発行所/草津市大路2丁目11-33  
TEL 077-561-6111  
FAX 077-565-6101

が、社会に一步踏み出した時に障害の重さを実感するのが、聴覚障害者であります。そこで、地域のみなさん方に具体的に配慮して頂きたい主な事柄について述べたいと思います。

①ホール、会議室等には、磁気誘導ループ等を敷設、②講演会、会議などでは、手話通訳者、要約筆記者を配置、③病院、銀行などの受付には、電光掲示板を設置、④ホテルなどでは、視覚的に連絡出来る機器や非難誘導設備等を設置、⑤公的機関などには、公衆FAXや難聴者用電話を設置、などあります。

同時に、聴覚障害者と話す時は、相手に口が見えるようにして、ゆっくりと話したり、呼びかける時は、前側面から声をかけながら肩などを軽く叩くなどの配慮が必要であります。また、うなずきの動作を見ても、全て理解されたものと考えず、大事なことは再確認することも大切と思います。

さらに、聴覚障害者は、自分の声の音量が判らないため、大きな声が出ることなどがあります。けっして特別視をせず、理解をして、人間の尊厳を支えて頂きたいと思えます。

こうしたことについて、今後おおいに議論し、可能なことから改善しつつ、新しい成熟社会に移行することが大切と考えます。

最後に、聴覚障害者の皆さんの自主的参加が、最も大事なことであります。心から期待いたしましたして、新年の挨拶といたします。

# 充実したセミナー 伊東氏講演に共感

昨年十月二十五日には、センター開所二周年を記念した「聴覚障害者の社会的自立を考えるセミナー」が開催され、職員の実践報告や伊東雋祐氏の記念講演に百二十人を越える関係者が集い事業の発展と充実に向けて決意を新たにしました。

このセミナーでは、センター事業が、聴覚障害者や関係者など広く利用者の要求や願いに応えていく上で、様々な悩みや課題を共に語り合えることを目的にして開催され、センター事業の取り組みや課題をまとめたレポートや、手話への関心が高まる中で、聴覚障害者と手話学習者が「共に歩む」姿勢の重要性を記念講演を通して確認し合う

滋賀県立聴覚障害者  
2周年記念事業

## 障害者の社会的自立



機会となりました。(右写真)  
職員の実践報告では、聴覚障害者の人権に関わる問題提起、手話通訳では

派遣制度の充実に向けた課題、要約筆記では多様な情報提供手段の試行、3企画は今後の展望についてそれぞれの報告を行いました。

記念講演は大変な盛況で、講師の伊東氏の魅力ある手話で、戦前から戦後にかけて、ろうあ者の暮らしの変化や人権の歴史の話に、「素晴らしい講演でした。また開催して下さい。」「来て良かった。感謝しています。」「共感の声が多数寄せられました。」

当日は、隣のサンサンホールでアニメ映画『どんぐりの家』の上映会が行われ、実行委員会の奮闘もあり千人を越える人々が長蛇の列をつくりました。セミナーと上映会の成功。この二つの取り組みは、手話ブームと言われる

今日の時代に、手話の大衆的な広がり  
を基盤にした関係者の粘り強い運動が、  
手話や聴覚障害者の市民権の一層の拡大に大きく繋がっていることを示した  
と言えます。

「毎月一回続けて欲しい。今後もセンターの積極的な企画を期待します。」「二年間の取り組み、皆さんの熱意や考え方が伝わってきました。土台が出来てきた今後の発展が楽しみです。」「共に歩むことの意味の深さを改めて確認しました。」等々の参加者の声がありました。

これから、センター事業の発展と充実に向けて、改めて「共に歩む」ことの意味を噛みしめ、三周年を迎えたいと思います。

## くさつ 発信

社会福祉法人  
滋賀県聴覚障害者福祉協会

理事長 三塚 武男

今年の年賀状には「迎春」というコトバが多かったように思います。多くの人たちが、希望もてる明るい春を迎えたいと思いつつ暮していること  
の表れではないでしょうか。

現実には、不況が長引いており、失業や不安定な雇用がふえています。収入の方は増えないのに、消費税や医療・年金、教育費などの支出は増える一方

です。

しかも、それは、すべての人たちに一律・一様に現れているのではなく、自助努力だけでは「人間らしい」暮らしを維持することが困難な高齢者や障害者・病人・介護を要する人とその家族にさまざまな生活の困難や負担、不安がしわ寄せされています。とくに、家庭や地域で孤立し「くらしを支える条件」が乏しい人ほど深刻です。

同時に、くらしの現場では、お互いに、具体的にくらしに根ざしたホッペの対話・交流を積み重ねることによって、共通の思いや願いを明らかにする取り組みも進んでいます。

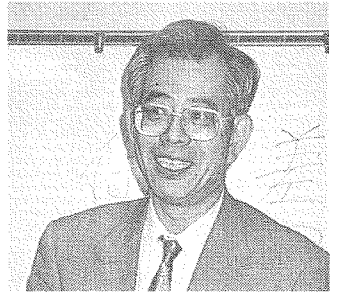
今年センターがスタートしてまる

三年を迎えます。基礎固めの段階から、障害者とその家族共通の願いである「誰もが人間らしく安心して暮らせるまちづくり」に向けて、センターの職員と法人を構成している各団体が協力・連携して、たとえば町村単位あるいは都市部の場合は小学校区単位の懇談会や交流会などを通じて、支部をつくるなどの活動を進めていく時期にさしかかっているのではないのでしょうか。このような取り組みが、「障害者プラン」を手がかりにして、実りのある障害者福祉に発展させていく条件になると考えられます。

### なるほど！暮らしの法律

全国で初の弁護士になられたろう者の松本晶行先生（大阪弁護士会所属）を招いて十月八日午後七時から聴覚障害者センターで、ろうあ者日曜教室事業の一環として講演会が行われました。（右写真）

演題名は「知っておきたいくらしの法律」でしたが、金銭トラブルによる法律ノウハウを中心に弁護士活動の経験を踏まえてわかりやすく話され、四十人の参加者を喜ばせました。



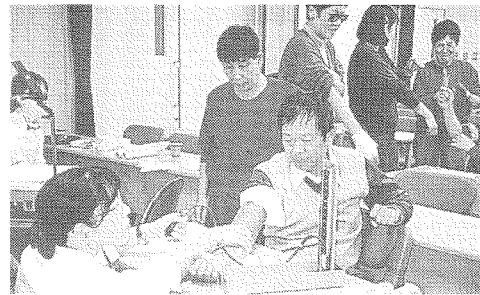
### 「手話通訳者養成基礎コース」 学び合いと仲間づくりで好評

手話通訳は県下でも様々な活動が行われていますが、今まで手話通訳の理念や目的、また、知識や技術をどう高めていくのかなど、手話通訳のあり方について学ぶ機会はあまりありませんでした。今回の講座は、手話通訳者の養成講座としては初めての開催で、手話通訳者のあり方や手話通訳技術のポイントなどについて県下四十人の受講生が学び合いました。

社会福祉概論を始め手話通訳者の健康問題と手話通訳論、また手話の歴史など幅広い内容の講義を学び、通訳技術では、手話表現の7つのポイントやトレーニング方法、また事例検討やロールプレイなど実践的な学習も行われました。また手話スピーチや33企画スタッフとの交流、手話劇の発表など盛り沢山の内容となりました。

受講生からは、「このような本格的な講座は初めて」「自分自身の学習課題が確認できた」「色んな学習方法を学べて良かった」「見やすい、わかりやすい手話表現の大切さを学んだ」「手話の技術だけでなく広く問題を考えながら勉強していきたい」との声が出されたり、班運営を重視し集団で学ぶなど学習者同士の交流が広がったこと

### センターで日曜教室



### 勉強になった「高血圧」

保健所での聴覚障害者に対する健康相談を研究しておられる尾本由美子先生（大津保健所勤務）を招いて十一月十七日午後一時半から「高血圧について」と題して聴覚障害者センターで講演会が行われました。

血圧を下げるために、①肥満解消、②減塩、③運動の三つの方法が大切と模型を示しながら強調されました。また一人ずつ血圧測定等もやっていただき、大好評でした。（上写真）

とから、「毎週落ち込みながらも友達と励ましあって最後までこれ良かった」「様々な体験を持つ人々の考えを聞けて良かった」「連帯感ができた」「良い仲間と出会うことができ、同じ仲間として学びあえた」等仲間との出会いが大きな喜びとなりました。仲間づくりは講座終了後も継続しています。

近年、手話通訳士認定試験の実施や情報提供施設の開設、また障害者プラシの進展など、国の手話通訳関連事業が大きく展開する中、手話通訳者の養成や公的機関への配置は緊急の課題となっています。手話通訳への社会的理解を一層高め、聴覚障害者の社会参加や権利保障を担う手話通訳の質の高まりがいよいよ求められる時代になっています。

### センターだより

1998年1月1日、新しい1年が、今年もスタートしました。近年、国民的行事でもあるお正月のスタイルが、変わってきています。特に、24時間営業のコンビニ（ローソンやセブンイレブン等）や、ファミリーレストラン等の進出で「おせち料理＝お正月」といった食文化の概念が、若い世代の人達を中心として、変わりつつあります。

年賀状にしても、パソコンやワープロを使って、手間をかけずとも簡単に作成でき、他に、パソコン通信やファクシミリでも、送れる今、1枚、1枚手書きで年賀状を出している私は、時代遅れの人間になってしまう危機感を、ひしひしと感じています。

我職場にも、職員一人に1台のパソコンが用意されていますが、私のパソコンはただ今睡眠中。今年は、活躍させなければと気があせるばかりでどうなることやら。

21世紀まであと3年。私達を取りまわっている社会状況や生活環境もさらに変動していくことでしょう。

でも、人として大切なコミュニケーションであるあいさつや、人と人との心の結びつく素晴らしさは、いつの世においても変わらず、当センターにおいても、コミュニケーションの花が、いつも満開であるセンターでありたいと思います。

おりしも、今年は、第10回全国ろうあ老人大会（10月に長浜市、米原町を中心）と、第8回近畿ろうあ婦人研究討論会（7月に近江八幡）が、当県で開催されます。全国から集う仲間と共に、どんなコミュニケーションの花が、咲きみだれるか今から心待ちにしています。

ここで、皆様に新年のごあいさつを申し上げてペンを置くことにします。

明けましておめでとうございます。  
本年もよろしく願い申し上げます。

(吉田智)

あと三ヶ月で平成九年度事業は終わります。聴覚障害者センター主事業の手話指導者養成講座もいよいよ追い込みに入り、ビッグな特別公開講座二本立てを企画しました。参加者対象は自由ですので、ぜひともお申し込みください。くわしくはセンターの小久江または白井まで。

## 大いに学ぼう

### 特別公開講座のお知らせ

#### 手話言語学入門

国立特殊教育総合研究所の小田候朗氏（聴覚・言語障害教育研究部・ろう教育研究室）が「手話言語学入門」と題して講演をおこないます。

難しそうな手話学も気軽に学んで得た気分になるに違いありません。この講座に参加すれば、きっと手話指導

に自信がもてることでしょう。ふるってご参加ください。

▼日時 二月七日(土)午後一時半～四時

▼会場 聴覚障害者センター

#### 学校における手話指導

熊本からはるる来滋される手話通訳士の梶原初子さんが初めて披露されます。

ポイント形式で取り上げて紹介しております。

また、医療に関する単語表現なども収録されており、医師や聴覚障害者も含めて医療場面における通訳のあり方を考えるような内容になっております。ぜひ一度、ご覧になって下さい。

#### ○「ネットワーク草津」

四分字幕付き

このビデオは、びわこ放送(BBC)で放映された草津市の広報番組「ネットワーク草津」(隔週月曜日18:55～18:59)のビデオに字幕をつけたもので、内容は聴覚障害者センターがある草津市のいろいろな街道を紹介しています。草津市は昔、東海道と中山道の

テーマは「学校における手話指導について」。同先生は古くからの大ベテランであり、やわらかい雰囲気にも包まれていただけることでしょう。本人も専門学校などで手話指導をしており教授法をたのしく聞けると思います。

▼日時 二月二十一日(土)

午後一時半～四時

▼会場 聴覚障害者センター

#### 七カ七カの新車イス寄贈

センター表玄関に新しく手動車イスが入り、二台目になりました。これは読売新聞大阪本社「名士名流作品展」の収益金から、聴覚障害者共同作業所「333企画」にクリスマスプレゼントとして贈られました。

分岐点の宿場町として知られていますが、東海道や中山道の他にも歴史のある様々な街道があります。ぜひ、ごらんになって下さい。

また、このビデオはセンターのライブラリーのほか、草津市役所のビデオ視聴コーナーでごらんになれます。年間十本制作する予定です。

#### ○新作ビデオが66本入りました。

主なタイトルは「続・星の金貨」や「裸の大將」、「学校II」、「釣りバカ日誌8」、「霧の予午線」、「カメラ・大怪獣空中決戦」、「SMAP×SMAP96」、「忍玉乱太郎」、「爆笑！吉本字幕ビデオ」などです。

今回は、ドラマから映画やアニメ、

#### 悪徳商法にご注意を

##### 被害にあわないための七つのポイント

- 1 本当に必要なかどうかよく考えて
- 2 「いいません」と言えるはじめの勇気こそ肝心
- 3 ウマイ話には落とし穴があり
- 4 ふところ具合は絶対に相手にもらさないで
- 5 印鑑押すな、金出すな、まず家族に相談
- 6 契約書をよく読み大切に保管
- 7 おかしいと思ったら、近くの相談窓口へ

お笑いまで、バラエティに富んでいきます。特に今回は、吉本の新喜劇や落語漫才に字幕がついたということで、聴覚障害者の方にも大阪のお笑いを楽しんでいただけたと思います。ぜひ、一度ご覧下さい。

#### ○ライブラリーからのお知らせ

バーコード管理システムがもうすぐ稼働します。ライブラリーに登録されている方は、今後利用者カードを必ず持ってきて下さい。また、ライブラリーの利用者カードに新しい会員番号のバーコードを貼り直しています。まだ、新しい会員番号を貼り替えていない方は、ビデオを借りるときに持ってきて下さい。

## 新作ビデオ

聴覚障害者が安心して医療を受けるために

#### 「医療通訳学習ビデオ」

手話・字幕付き三十分が完成しました。

このビデオは、全国手話通訳問題研究会滋賀支部の医療班が制作したもので、当センターが協力を行って完成しました。

内容は医療場面における手話通訳のあり方や、医師や患者も含めたコミュニケーションの方法などの注意点を、